

「令和5年7月豪雨による 災害廃棄物処理を経験して」



秋田市環境部環境都市推進課

令和6年10月20日（日） 熊本市国際交流会館

令和6年度 災害廃棄物対策推進シンポジウム

秋田市の現況



人口 294,397人
(令和6年9月30日現在)

面積 906.07km²

一人1日当たり家庭系ごみ排出量
(資源化物および水銀含有ごみを除く)
485g (令和5年度実績)

処理施設：
秋田市総合環境センター溶融施設
シャフト炉式ガス化溶融炉
230t/日×2基



災害の状況



期間降水量 (単位:mm)

期間	観測点	秋田	仁別	岩見三内
7/15の降雨量		※ 188.0	※ 330.0	※ 234.0
7/14~16の降雨量		253.0	415.5	313.0
7月1か月の平均降雨量		197.0	295.5	258.1

※観測史上最大 内水氾濫発生 ⇔ 外水氾濫

令和5年7月豪雨による家屋の被害状況 (単位:棟)



全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	計
11	2,459	23	578	3,038	6,109

(出典: 「令和5年7月豪雨災害対応 検証報告」(令和6年3月)
令和5年7月豪雨災害対応検証委員会)

災害の状況（JR秋田駅周辺）

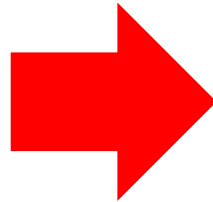
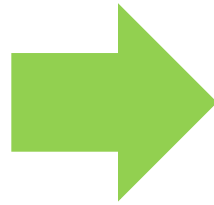


出典：雄物川圏域流域治水協議会 下流圏域分科会 第3回 (R5.11.29)
資料1 雄物川下流域圏域 水災害対策プロジェクト 資料2 (一部加筆)

災害廃棄物の状況



平時と災害時の廃棄物処理の違い



災害廃棄物の収集運搬



収集協力団体

秋田市廃棄物処理協会、
秋田県トラック協会、秋田市建設業協会、
秋田県解体工事業協会、
秋田県産業資源循環協会、
全国都市清掃会議・応援10都市
(仙台市、郡山市、福島市、盛岡市、八戸市、
青森市、川崎市、横浜市、男鹿市、潟上市)

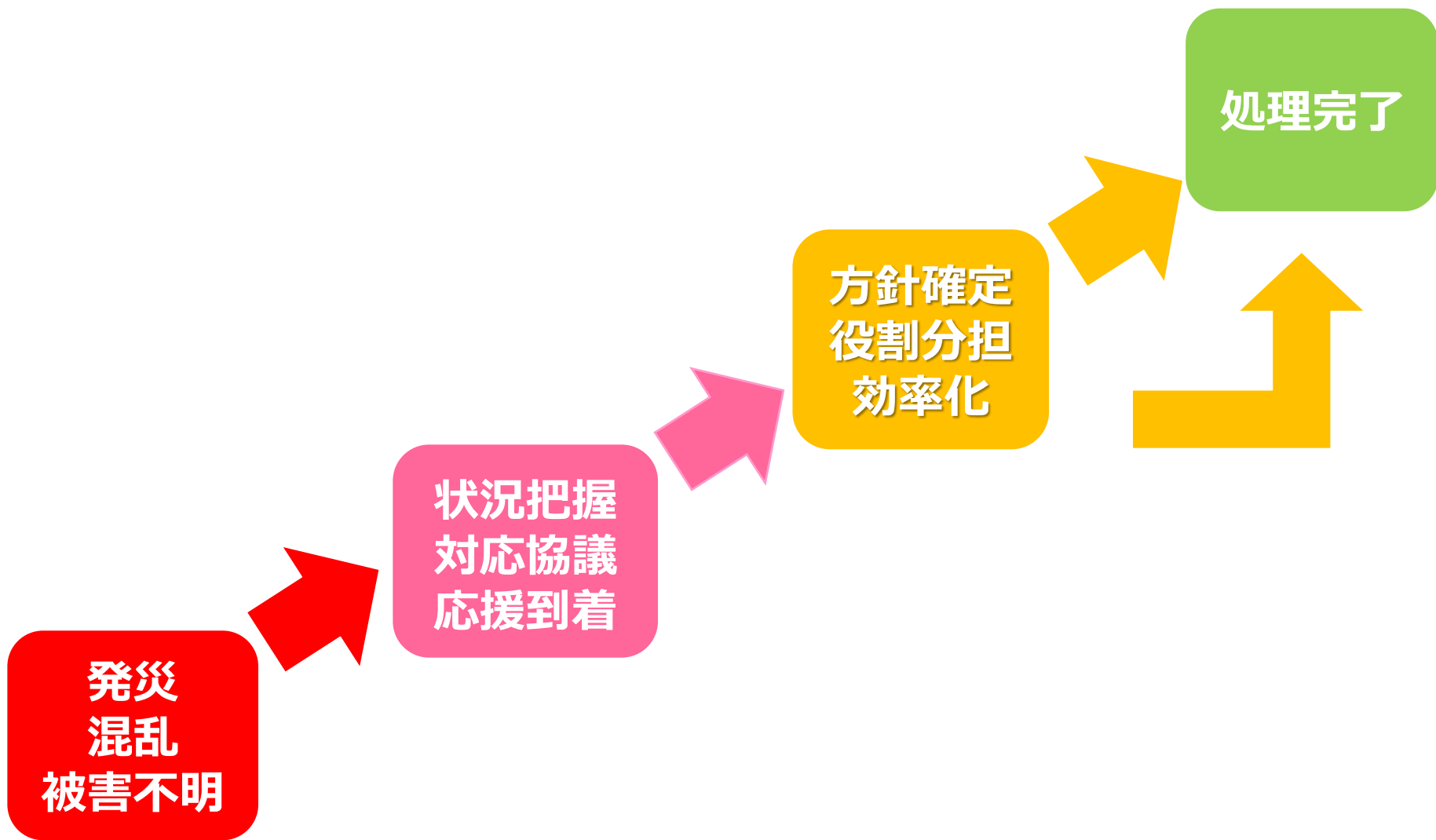
自衛隊（運搬）



仮置場の管理・災害廃棄物処分



発災から処理完了まで



災害廃棄物処理を加速させるために①

目標を立てる



県から借用した
「旧空港跡地」仮置場は、
(一次仮置場兼二次仮置場)
降雪期の道路除排雪堆雪場として
使用



目標：
降雪が本格化する
11月下旬までに
仮置場を原状復帰し返還
(目標を関係者・市民と共有)
↑災害廃棄物処理実行計画策定

◎ **目標達成**

災害廃棄物処理を加速させるために②

役割分担を明確にし 得意分野を事業者に任せる



- ・地域の実情・特性を把握している
行政（基礎自治体）が旗を振って、
国・県・応援自治体の助言を受け、民間事業者の役割
分担を調製し、明確化する。
- ・民間事業者が保有する経営資源(人材・資機材・設備)を
把握し、平時の事業領域で得意な分野を、
災害時においても、最大の効果を発揮できるよう任せる。



災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）による応援自治体
熊本市、いわき市、東京都、岩手県、習志野市、
館山市、多賀城市

災害廃棄物処理を加速させるために③

民間事業者に任せること(例:公費解体)



「全壊」判定住家の
公費解体事業の実施（2棟）

結果的に、2棟とも私費解体制度
（費用償還制度）を利用



【解体工事を
市が実施】

市の工事入札
カレンダー



【私費解体工事を
市で費用償還】

事業者と契約次第執行

被災者生活支援を加速
市は基準策定で監督

被災経験から災害に強いまちへ①

県産業資源循環協会等の団体と連携が強化
できたこと



災害時は、
平時の一般廃棄物処理の処理能力を
（収集運搬、中間処理【破碎・焼却】）
大幅に超過する災害廃棄物が発生



平時から
県協定に基づき支援要請をする
県産業資源循環協会と
よりよい災害廃棄物処理に向けた
協議を断続的に重ねる取組が重要

被災経験から災害に強いまちへ②

市（行政組織）として、被災経験を
地域防災計画、災害廃棄物処理計画に盛り込む



令和5年7月豪雨災害対応について、
「豪雨災害対応検証委員会」が設置され、
課題等を抽出・整理し、改善策を検討し
「地域防災計画」等に反映していく。



廃棄物部門として、同検証委員会の
下部組織として「災害廃棄物処理部会」を
設置し、部門別計画である
「災害廃棄物処理計画」に反映させるため、
見直し作業を進めていく。

令和6年度末の見直しを予定

被災経験から災害に強いまちへ③

災害廃棄物への対応で、市民の協力を得られたこと

ごみ収集は、
市民の協力が
あって初めて成り立つ

平時から
災害時の「災害ごみ」の
出し方を周知

今後も
市民への周知活動を
充実させていく

6月6日 月曜日

災害ごみの出し方

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

災害ごみの出し方に関する情報は、以下のQRコードからご確認ください。



災害ごみの出し方に関するお問い合わせ先

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

保存版

大規模災害時のための出し方

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

災害ごみの出し方に関する情報は、以下のQRコードからご確認ください。



災害ごみの出し方に関するお問い合わせ先

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

災害ごみの出し方に関するお問い合わせ先

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

災害ごみの出し方に関する情報は、以下のQRコードからご確認ください。



災害ごみの出し方に関するお問い合わせ先

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

STEP 1

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

災害ごみの出し方に関する情報は、以下のQRコードからご確認ください。



STEP 2

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

災害ごみの出し方に関する情報は、以下のQRコードからご確認ください。



STEP 3

災害発生後は、被災者の方々の生活が大きな支障をきたす可能性があります。被災者の方々の生活を支えるために、災害ごみの出し方を周知することが重要です。

災害ごみの出し方に関する情報は、以下のQRコードからご確認ください。



災害ごみ？生活ごみ？

エコちゃんアドバイス！

災害ごみとは、災害発生後に発生するごみを指します。生活ごみとは、日常生活で発生するごみを指します。

災害ごみの出し方に関する情報は、以下のQRコードからご確認ください。



13 広報あきた 2024年6月7日号

◆印刷用番号は、各ホームページ最上段のページ情報の欄に入力してください。

市外局番=0182

12

ご静聴ありがとうございました

令和5年7月豪雨に際し、
秋田市災害廃棄物処理にご協力いただきました
環境省(技術的助言、財政的支援)、全国の自治体、
団体、関係事業者の皆様、ありがとうございました。

